

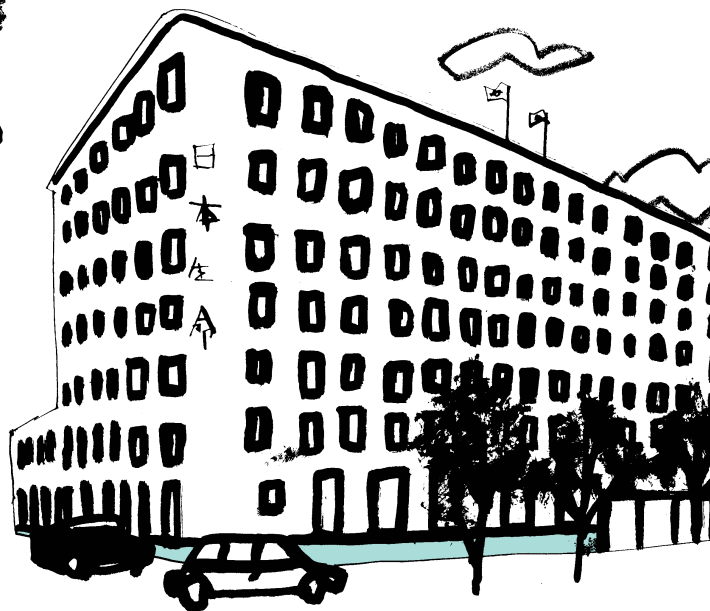
月刊島民

中之島

Vol.87 2015 10/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



生きた建築を
見たい理由。



ナカノシマ大学

「広岡浅子の
『引力』と土佐堀川」
&
「中之島タイムトリップ」

申し込み受付中!



大阪の新しい名所

今、「生きた建築」を見たい理由。

大阪市が進める「生きた建築ミュージアム事業」は、時代ごとにさまざまに変化・発展しながら、
今なお生き生きとその魅力を物語る建築物を、大阪の新しい魅力として発信していこうとするもの。一昨年にスタートし、
昨年からのフェス開催に今年は関連書籍の刊行など、ニュースが続々。街のムーブメントになりつつある。

取材・文／江口由夏 大迫 力(本誌) 取材協力／大阪市

3年前にスタートした「生きた建築」が画期的なのは、建物がオリジナルのままであることより、形や用途を変えながらも長年使われ続けてきたことを重視している点だった。時代に合わせて変化する様子を都市生活の痕跡として積極的に評価する考え方は、街で働き、遊び、暮らす私たちにとってはとても心地良い。

事業の中心は大阪市内にある50件を選定した「大阪セレクション」。それを核として、生きた建築を大阪の新しい魅力として発信するべく、昨年は建物の特別公開をメインに「生きた建築ミュージアムフェスティバル」、通称「イケフェス」も開催された。目立ったのはカメラ片手の若い女性。カフェでお茶するような感覚で建築見学を楽しむ姿が印象的だった。

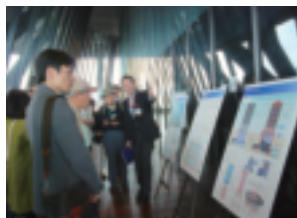
この10月には50件の魅力を解説した関連ガイド本『生きた建築 大阪』も発売。生きた建築は今や街のキーワードの一つになりつつある。スクラップ・アンド・ビルドがすべてではないとわかった時代、物語や歴史を豊かに宿した建築は確かに魅力的に映る。そんな時代の気分と生きた建築の価値観がぴったり合ったということなのだろう。



ダイビル本館



日本銀行 大阪支店



中之島フェスティバルタワー



輸出繊維会館



生駒ビルディング

オープンする建築もプログラムも大増量！ 「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2015」

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2015

●10月31日(土)～11月1日(日)ほか

セレクションの50件を中心に、全部で87件の建築が参加し、120のプログラムが行われるまさに建築のフェスティバル。特別公開、トークイベント、パネルや資料展示など、建物の個性によって変わる演出をお楽しみに(なんと京阪中之島線駅舎ツアーまであるらしい)。10月30日(金)には「前夜祭」もあり。プログラムの全容は特設ウェブサイトか、大阪市役所1階の市民情報プラザや梅田・難波・天王寺の大阪市サービスカウンターなどで配付される公式ガイドブックで。詳しくは「イケフェス2015」で検索。



イケフェス 担当者が語る 今年の見どころは？

大阪市 都市整備局
津村昭博さん 江藤道子さん

昨年は55の建物で77のプログラムを実施し、のべ1万人の方にご参加いただきました。終了後、建物関係者の方から、「来年はこういうこともできるよ」とアイデアをもらったのが嬉しかったですね。建物の価値に改めて気づいた関係者の方々が積極的に動いてくださることによって、長く続くイベントになる。そんな手ごたえを感じています。

生きた建築ミュージアム事業では生きた建築の魅力が市民の皆さんに伝わりやすい50件を選んでいきます。イケフェスははこの50件を始め、大阪にたくさんある生きた建築の魅力を体感できるイベントです。今年は新しく参加してくださる建物の開拓にも力を入れ、80以上の建物で120のプログラムを実施できることに。アートや映画、船をキーワードにした新しい入口も用意しています。

各建物関係者にイケフェスへの参加のお願いに伺った際には、丁寧に建物を案内してくださる方もいらっしやり、私たち参加者の気分でもっと楽しませていただきました。「生きた建築」は建物そのものはもちろん、建物に関わっておられる「人」も大きな魅力です。イケフェスでは、その両方に会うことができるんです。

満を持して、「生きた建築」関連本が誕生！ イケフェス参加者は必携のコンプリートガイド。



10月上旬発売の『生きた建築 大阪』は、タイトル通り「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」の50件を一挙に紹介。建築の解説はセレクションの選定に携わった建築史家の倉方俊輔さんと建築家の高岡伸一さんのコンビが半分ずつ執筆。生きた建築事業関連の写真をすべて撮影しているカメラマンの西岡暲さんのダイナミックな写真もオールカラーでたっぷり収録されており、生きた建築に深く関わるメンバーによって編まれた、いわばコンプリートガイドだ。

『生きた建築 大阪』

倉方・高岡両氏のほか、生きた建築ミュージアム推進有識者委員会の座長を務める橋爪紳也さん、同メンバーの嘉名光市さんも執筆。また、さまざまな立場から生きた建築に関わる人々がコラムを寄稿しており、小説家の柴崎友香さんは大丸心斎橋についてのエッセイを書いている。10月上旬発売予定、書店での予約も受付中。問い合わせ ☎06-4799-1340 (株式会社140B)

50件を1冊の中で眺めてみると、近代建築ありオフィスビルあり、喫茶店やバーもありと、時代やジャンルに縛られない生きた建築のコンセプトがよくわかる。また、一つ一つの建築が宿す物語を追うことで、大阪という都市の歴史も浮かび上がってくる。イケフェスの予習がてらに読めば（復習でも可）、建物の見方が変わること請け合いだ。

ガッツとくる、迫力の写真が満載！



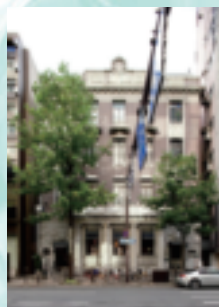
梅田スカイビル



ダイビル本館



船場ビルディング



新井ビル



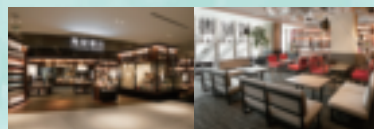
輸出繊維会館



JR大阪駅にオープンした話題の書店で、 『生きた建築 大阪』刊行記念トークイベント開催！

本の発売を記念したトークイベントが早くも決定。メインの著者である倉方俊輔さん＆高岡伸一さんのコンビが登場。本についてはもちろんのこと、生きた建築ムーブメントの今後の展望や、終わったばかりのイケフェス2015をふり返る「アフタートーク」も楽しみだ。会場はこの5月にJR大阪駅の「ルクアイーレ」にオープンしたばかりの【梅田 蔦屋書店】。窓のすぐ下に見えるJR大阪駅や大阪ステーションシティの建築としての見どころも教えてもらおう。

日時／11月10日(火)
7:30PM～9:00PM(開場7:00 PM)
会場／梅田 蔦屋書店(ルクアイーレ9階)
参加料／1,500円(こちらで本を買うと500円に)
定員／70名(予約先着順)
申し込み方法／10月1日より梅田 蔦屋書店のHPにて予約受付開始。<http://real.tsite.jp/umeda/>
問い合わせ ☎06-4799-1800



生きた建築を支える人に聞く イケフェスが気づかせてくれたこと。

取材・文／江口由夏 山内優花(本誌)

建物の歴史は、わたしの人生でもある。

家族代々、ビルを大切に守ってきた個人オーナーにとって、建物は人生そのもの。
そうした物語に光をあてることで、生きた建築の維持につなげることも、セレクションの目標の一つだ。



新しいカフェでのガイドあり。

●10月31日(土)・11月1日(日) [ガイド・展示]
ビルの案内や資料展示。1階にオープンしたばかりのカフェではさらに詳しいガイドも聴ける。



青山ビル

「ビルとこの街を、
守っていく使命があります」

青山修司さん(左) 正美さん(中) 敬子さん(右)

祖父が譲り受けたこのビルは、小さい頃から慣れ親しんだ親子の思い出の場所です。昨年の特別公開では、建物だけではなく、展示した古い窓枠や電話線の跡など、生活の痕跡に感心してもらえました。どのように使い続けているのかという熱心な質問もいただきました。大切に保存していることが伝わったのかと思うと、とても嬉しいです。

祖父の個人邸だった頃から用途は変わり、テナントビルとなりましたが、戦後から何十年もお付き合いがある方や、ビル内で引っ越しされる方も少なくありません。このビルや

街を、何十年後も気に入ってもらえるようにすることが私たちの使命です。でも、特別なことをしようとは思っていません。個人オーナーだからこそできる、ささやかですが温かいおもてなしを続けていければと思っています。(修司さん)



昨年は、「個人邸宅だった頃、ここは子ども部屋で…」といったガイドも行われた。俳人の山口誓子が入居していた時期もあった。



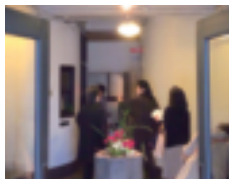
伏見ビル

「まるで家族を
見に来てもらった気持ちです」

上村田鶴子さん

50年ほどこのビルを管理していますが、以前は小さなオフィス向けのビルだったので休日の出入りもほぼありませんでした。ふらっと訪れてもらえるような雑居ビルになったのは、この20年ぐらいのこと。テナントが入ると「いってらっしゃい」と送り出すのも嬉しく、急にビルの古い部分が気になってきたり。自宅よりも過ごす時間が長いせいか、ビル自体が家のように思えてきました。入居されている方とは親子のような、愛情を注ぎ合う関係でありたい。「顔が見えるオーナー」でいたいですね。

普段から自由に覗いてもらえるようにしているのに、それでも昨年はわざわざ「オーナーは元気になっていますか」と訪ねてくださる方もいらっしゃいました。他にもたくさん建物がある中で、このこじんまりしたビルを選んでくれたのは本当にありがたいです。



竣工した当初はホテルだった伏見ビル。エントランスにある梅鉢の生け花が人々を和ませる。



上村さん母娘がお出迎え。

●10月31日(土)・11月1日(日) [ガイドツアー]
オーナーのファンも集まる1階のギャラリーは元・理髪店だったことがよくわかる名残も多い。

働いているからこそ、伝えたい。

イケフェスは、ビルと「いつもは使わない人」が出会う化学反応の場でもある。
その体験は、いつもビルで働いている人にとって、大きな学びの場でもあるようだ。



ビル屋上から御堂筋を一望。

●11月1日(日) [ガイドツアー]

当日は特別に屋上も公開。前日の31日(土)は、NEXT21のツアーが行なわれるので、合わせてどうぞ。



大阪ガスビル

「見慣れた職場が、
違った風に見えてきました」

大阪ガス 近畿圏部地域共創計画チーム 宮腰洋美さん

去年は、私たち社員がガイド役となってビルの1階から屋上まで案内しました。ガスビルを見たいと思って足を運んでくださった方がたくさんおられ、ビルの前に長い行列ができたことが一番の驚き。見学会では、エレベーターや階段、窓、建物内部の細かいところまで注目して見学してくださる姿を目の当たりして、感動しました。ガイドをしていますと、いつものオフィスが博物館か美術館になったような錯覚を覚えました。普段、私たちが働いているガスビルが、多くの方々に愛されているビルであることを、社内にもっと伝えてい

きたいと思います。

今年は「NEXT21」という社員が実験的に住む集合住宅も会場になっています。建築を楽しむ気持ちを、働く人と訪れる人が共有できる貴重な機会。次世代につなげていくためにも、息の長い活動にしていきたいですね。



ガスビル管理歴20年の社員による館内ガイドは、「ガスビル愛がすごい」とTwitterでも反応があった。



御堂ビル(竹中工務店大阪本店)

「街並みの歴史を伝えるには、企業や建築同士の連携が必要」

竹中工務店 大阪本店設計部部長付 中原文雄さん(左)



ルポンドシエルビル(大林組旧本店)

「生きた建物を残す技術から、業界の面白さを知ってもらいたい」

大林組 大阪本店総務部 平田孝行さん(右)

平田 去年の「大林組歴史館」での資料展示会は、予想を上回る来場者に驚きました。「はたして一企業の資料に興味はあるのだろうか」と半信半疑だったんです。

中原 うちも社員をガイドに館内ツアーをしました。見えてもらえるようなビルに勤めていたんだ」と気づかされました。今年は他社との連携を仕掛けたい。「生きた建築」の中で、竹中工務店と大林組さんが関わる場所は半数以上。やはりゼネコンの存在は無視できないんです(笑)。大阪の街に貢献してきたという自負をお互いに持って、これからは「なぜ建物を残すのか?」「どうやって残すのか?」という心と技の部分を、未来に伝える取り組みを協力して始めたいと思っ

ています。例えば御堂ビル内に、我々が手がけた企業のビル紹介を出したり。最終的にそれらをまとめて、建築保存のためのバイブルにしたいという夢もあります。

平田 それは街の財産にもなりますね。このイベントを機に、ビルオーナーから新たに貴重な資料が公開されれば、さらにお宝が増えるのではと期待します。保存復原工事の技術は、一般の方にも興味を持ってもらえると思います。今年はダイビル本館や証券取引所ビルなどの生きた建築の施工例を、講義形式で紹介します(ダイビル本館にて11月1日に実施)。保存復原技術の観点から、ものづくりの面白さを感じてもらえると嬉しいですね。

中原 日常に建築や設計があるためにはどうしたらいいか、イケフェスを活用して考えていきたいですね。



御堂ビル

左官や大工の技も体験できる。

●10月31日(土)・11月1日(日) [ガイドツアー]
中原さんから社員の方がビルを案内。他のビルと連携し、ツアー開始時間をずらし合う工夫も。

ルポンドシエルビル

知られざる建築の現場を映像で。

●10月31日(土)・11月1日(日) [資料展示]
3階の大林歴史館で上映される施工現場の映像は、昔の大阪の街並みを知る手がかりにもなる。

店のことを好きになってほしい、自分たちの思いを知ってほしい。イケフェスは、建築を媒介にしたアピールの場でもある。そんな機会を求めて、今年から新たに参加する人たちも加わって、さらに面白くなりそうな予感が。



営業時間を縫って店内を公開。

●10月31日(土) [特別公開]

営業時間外の10:00AM～と3:00PM～は自由に見学可能(各約1時間)。



今橋ビルディング

「数字では測れない、
再利用の意味を感じてほしい」

[ダル・ボンピエーレ]ソムリエ 森田 行さん

昨年、営業時間前に店内を見学してもらおうと朝の10時頃にやって来たら、すでに行列ができていて眠気が飛びました(笑)。仕込み中の厨房横を見学者が通り抜けていく。その光景は不思議な感じがしましたね。初めての方はわかりでしたが、帰りに「せっかくだから」とランチをしてくださる方も予想以上に多くて。あれもこれも解説しなかったのに、手が回らずに少し歯がゆかったです。

このビルは元は消防署だったんです。中2階の司令室は小さな個室に、天井が高い1階はオープンキッチンに。レストランとしては非効率な使い方もありませんが、再利用の意図や結果を知ってもらいたい。便利さや数字だけで結論づけられないこともあります。

店を営業しつつ、イケフェスの来場者のおもてなしもするためには、どうすればいいか。イラスト入りマップを配付したり、休日も営業するなど、イケフェスに合わせて工夫や準備をする中で、うちだけでなく近所の店の営業方法も変わってくるかもしれません。



当日は急遽、ガイド役にホールスタッフを投入。「消防署のボールはどこや」なんて質問も飛び出した。



日本圧着端子製造株式会社

「『こんなオフィスもありなのか』
から興味を持ってもらえれば」

総務・法務グループ 柏本日出雄さん(左) 高田信哉さん(右)

今回、「現代建築粋」として参加を呼びかけてもらった時は、「そんなイベントがあったのか!」と驚きながらも、多くの方に公開できるチャンスだと感じました。

私たちのオフィスはヒノキと杉をふんだんに使い、木製の靴箱や畳の仕事スペースまであります。従来のオフィスビルにはない新しいスタイルですが、日本人ならではの発想とも言えます。これら木材は、時の経過により、色合いも変化するので、会社と一緒に成長している気がするんですね。

当社は、車や家電等あらゆる電子機器に不可欠な電子部品、コネクタを開発・製造しています。普段の生活では、その存在に気づく機会は少ないため、実は多くの方に知ってもらう機会が少ないと悩んでいました。イケ

フェスでは当社製品も展示する予定ですので、いろいろな方に当社をアピールできるチャンスだと考えています。「こんな快適なオフィスがあるのか」という発見から、当社に興味を持っていただければ嬉しいですね。



床の一部の高さを変え、見通しを良くした各部署のフロア。社内のコミュニケーションが増えたとのこと。

初参加



ヒノキが香る、驚きのオフィス!

●10月31日(土) [ガイドツアー]

建築面は設計者、業務や業界技術については各部署が解説するツアーを3回にわたり実施する。

建築の魅力をいろいろな入口に。



グランサンクトス淀屋橋

「歴史ある建物の雰囲気
内側から味わってください」

「エルマースグリーン コーヒーカウンター」 中村佳代さん

前は、抽出したコーヒーを画材代わりにして絵を描かれるイラストレーターを招いたイベントを行いました。私がお客さんと日常的につながっているアイテムがコーヒーなので、それを連想できるイベントにしたかったです。ふだんはあまり来られないご年配の方もいらっしゃって、幅広い世代にお店を知っていただけたのが嬉しかったですね。

今年のイケフェスでは参加型のコーヒーの淹れ方教室を開こうかなと思っています。前回のよう「見る」だけでなく、お客さんが自分も一緒にやりたいと思えるものになりたい。そうしてコミュニケーションを重ねることで、また来たいと思ってもらえたら。マンションの1階にあるせいか、カフェには自由に出入りできると知らない方も多いんです。

歴史ある建物の雰囲気とマッチした空間でありながらも、気軽に立ち寄ってほしい。そして、内側から生きた建築を味わってもらえるような場所でありたい。イケフェスをそのきっかけにしたいですね。



この建物らしいコーヒー道具がモチーフの絵を展示。イケフェス参加者のリクエストで描く企画も好評だった。

参加型コーヒーワークショップ。

●11月1日(日) [器展示・コーヒー教室]
毎日カウンターに立つ中村さんが、抽出法や味の違いについてレクチャー。試飲もあり。



宣成社

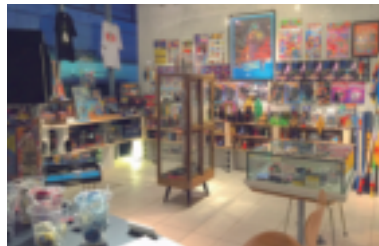
「自社ビルも街の一部。
公開する機会はあるがたい」

代表取締役社長 馬場雅也さん

海外では建築を一般公開するイベントがあると知っていたので、日本でそういったイベントがあるなら参加すべきだと思っていました。大阪市の方から声をかけてもらった際は「ぜひ!」とお答えしました。自社ビルとは言っても、街の一部であり公共の建物だと考えているからです。最近、1階をギャラリー、2階をコワーキングスペースとし、たくさんの人が出入りしやすいオフィスビルを目指しています。

ガラスの壁面に宣成社の「S」をあしらったこの建物は建築家の遠藤秀平さんが有名になる前の「作品」でもあります。自社ビルを建てるなら、そっけない建物にはしたくなかった。広告代理店らしいクリエイティブを感じてもらえるデザインをお願いして生

まれたものです。これまで専門家や建築を勉強している学生の方にしか見てもらうことはなかったです。建築家にとっても、イケフェスのように街をミュージアムに見立て、デザインの変遷がわかるような方法で一般に公開されるのはとてもいいことだと思います。



オープン2周年を迎えたギャラリー「Links」。イケフェス当日は若いアーティストによる企画イベントも開催。

初参加



社長直々にガイドします。

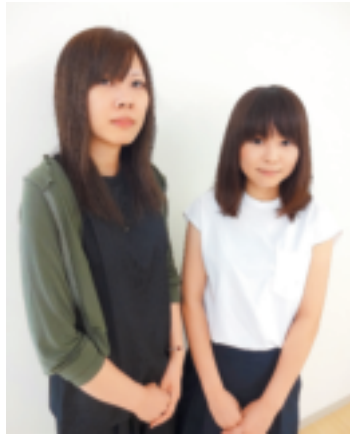
●10月31日(土)・11月1日(日) [ガイドツアー]
社長自らの案内に加え、設計に携わった遠藤秀平建築事務所によるパネルや模型を使った解説も。

生きた建築ファン、大活躍!

オーナーでも
社員でもないけれど...

イケフェスへのアプローチは、イベント参加だけではない。自分なりの「入口」から、イケフェスに関わる人たちもいる。

取材・文／江口由夏 山内優花(本誌)



生きた建築をコンサート^{コンサート}の会場に。

相愛大学 音楽学部 音楽マネジメント学科 伊豆田和音さん(左) 佐藤 舞さん(右)

ふだんから北船場でのコンサートをよく企画していた2人。このエリアに多い近代建築と、幅広い世代に向けた音楽を結びつけられたらと考えていた。「コンサートにとって会場はとても重要。企画を重ねるうちに『あの建物でやりたいね』というアイデアも湧いてきて、建築の魅力に気づくことができました。建築と音楽のファンがお互いにいいねと言合えるようなプログラムにしていきたいです」。今年の会場は三井住友銀行大阪本店ビルや堺筋倶楽部。重厚な会場の雰囲気と合うクラシックを軸に、会場ごとに異なる音の広がりや見え方を配慮した演目を企画中なのだそう。



昨年は北野家住宅(写真)や大阪証券取引所ビルが会場に。2人は大阪市の担当者と共に所有者との交渉もこなす。

ボランティアとして運営に参加。

吉田梨紗さん



撮影係も担った吉田さん。通常非公開の場所に足を踏み入れ興奮気味だったそう。

実は大阪市役所に勤める吉田さん。昨年、イケフェスの開催を知り、「面白そう」と、行列の整理や誘導、オーナーの解説サポートを務めるスタッフとして活躍した。現場を間近にすることで「歴史がある点やデザインが好きだった建築物」は、さらにお気に入りとなった。「好きの入口はなんでもいいと思います。スィーツ目的に訪れて、ちょっと引いて眺めてみたら建築物や建っている場所が素敵だったなんていうのもアリです」。昨年の試験的な導入を経て、今年は一般からボランティアスタッフを公募。フェスへの違った立場での関わり方も今後増えていくだろう。



「神戸でもイケフェスを開きたい!」島田 陽^{よう}さん(建築家)

神戸を拠点に活躍する建築家の島田さんは、市が街の資源を見直す「デザイン都市・神戸」創造会議のメンバーでもある。事務所がある北野町は異人館で名高い観光地だが、今この資源をめぐって心を痛めている。「同じく異人館が多い塩屋では、洋館の解体が進められています。価値が伝わらずに二束三文で売却された建物は簡単に壊されて、高層タワーに変わってしまう。景観が失われることは、実際に地価に影響するほど、街の人々の財産が損なわれることなのです」。

失いかけて気づく前に「外部の人間が建物を褒める機会が必要」と島田さん。そこで大阪で開催されたイケフェスがモデルとして活きる。話

題になる仕掛けをつくり、その建物の物語を知ることが維持につながる。「私は行けませんでした。参加した事務所スタッフの話を聞いて、羨ましいなど(笑)異人館をはじめ、神戸は資源に恵まれていますし、神戸市に向けて開催を提案しました。私自身が生まれ育った神戸のために動きたいんです」。



北野町が朝ドラをきっかけに注目されたのは昔の話ではない。現在は、海外からも多くの観光客がやってくる。



笑う落語の大阪

第十九回 高島幸次

本コラムの第十三回で、上方の『時うどん』と、江戸の『時そば』を比較した。上方では、漸の前半の客が二人なのに対して、江戸では一人に変えられた云々、と書いたのだ。

すると早速、「繁昌亭で一人型の『時うどん』を聞いた」というクレームが、いや異議が、いやいや親切な御教示を頂いた。たしかに、桂吉朝さんが一人型を上方に逆輸入されて以降、一門が継承されていますね。

このような、上方と江戸の相互交流は珍しくない。一例として、江戸の『酢豆腐』、上方の『ちりとてちん』をみる。その原話は、江戸中期の太坂で発行された『軽口太平楽』掲載の『酢豆腐』だが、落語化は江戸で行われた。原話の全文は以下の通り。

どのような物でも食する人あり。
あるとき悪しき豆腐を買って振る舞いに、かの男「これは悪い」という。「いやく悪いのではない。酢豆腐というものでござる。貴様の馳走にこしらえた。」と言えは、また四、五杯も食うて「これは素人の食わぬもの。」

原話とはいっても、「悪しき豆腐」のモチーフがヒントになっているだけだ。それを「腐った豆腐」にアレンジして漸を膨らませて落語『酢豆腐』を生み、のちに『ちりとてちん』に改作される。改作『ちりとてちん』は上方に逆輸入されて、初代桂春團治の爆笑ネタとなり、元の『酢豆腐』もやがて八代目桂文楽の十八番として評判をとる。

上方と江戸の相互交流。

しかし数年前に、朝ドラ『ちりとてちん』が放送されると（もちろんNHK大阪放送局の制作）、その影響か、東京の寄席でも『ちりとてちん』のかかることが増えたと聞く。

東西で影響し合うことは好ましい。著作権のない落語界の特権だ。某エンプレムのようにバクリ批判もないはずだから。

十月天神寄席のゲストは大阪の「うまいもん屋」に家言ある江弘毅さんです。

たかしまこうじ
大阪大学招聘教授、追手門学院大学客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

うまいもんが食べたくなる10月寄席。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。10月席の題は「うまいもん」。落語の中にも食べ物はよく登場し、美味しそうに食べる演技は漸家さんの腕の見せどころだ。

筋の面白さと合わせて今月はそういった所にも注目してみよう。ゲストは『月刊島民』の編集発行人でもある編集集団140Bの江弘毅。関西の「うまいもん」について広く書き記しているが、落語の中の「うまいもん」をどう料理する？

●10月のお題は「うまいもん」

10月25日(日)

「うまいもん」の楽語

落語／林家楽八「時うどん」

桂三弥「鯛（作／桂三枝）」

桂米平「蛇含草」

桂かみ枝「京の茶漬け」

桂春之輔「鰻の肴間」

鼎談「味わい深く語る」

江弘毅（編集者）

高島幸次（大阪大学招聘教授）

桂春之輔

著書に『「うまいもん屋」からの大阪論』（NHK出版新書）がある江弘毅が、会場を沸かせます！

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席」の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、2300円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／10月25日(日)

時間／6:00PM（開場5:30PM）／受付開始5:15PM（）

受講料／2300円（通常…前売2500円／当日3000円）

支払い方法／当日5:15PMより、繁昌亭前に仮設の「ナカノシマ大学受付」にて精算。

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP10を参照してください。

●問い合わせ ☎06・4799・1340（平日10:00AM～7:00PM）



桂春之輔師匠の「鰻の肴間」には、題名どおり鰻が登場。さて、法外な代金のわけは？
イラスト／フジワラトモコ



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト



玉岡かおるさんの
執筆裏話も聞けます

◎今月の授業①

【新時代の女】

2015年11月講座

「広岡浅子のゝ引力、と土佐堀川 ～ヴォーリス満喜子、村岡花子、市川房枝…～」

講師／玉岡かおる（作家）

秋からの朝ドラは、土佐堀川のほとりが舞台に。
大同生命の礎となった豪商や、女主人の気質について、
玉岡かおるさんに、たっぷり語っていただきます。

9月28日（月）より始まる連続テレビ小説「あさが来た」の主人公のモデルは広岡浅子。彼女は、京都の商家から大阪の豪商・加島屋に嫁いで明治維新で傾いた事業を立て直し、加島銀行や大同生命を創業。後に日本女子大学を開校して女性の社会進出の道を切り開いた、新しい時代の実業家だ。

今回、そんな広岡浅子の人物像について語ってくれるのは、月刊島民9月号の

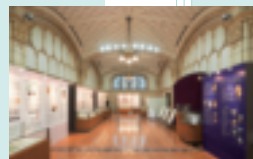
「豪商」特集にもご登場いただいた玉岡かおるさん。浅子が目をかけて応援した一柳満喜子の生涯を描いた小説『負けんとき～ヴォーリス満喜子の種まく日々』（新潮文庫）を残している。「負けんとき」は浅子の口ぐせで、満喜子はやがて日本の近代建築に偉大な足跡を残したW.M.ヴォーリスと結婚する。『赤毛のアン』の翻訳者・村岡花子や、女性の地位向上に生涯を捧げた政治家・市川房枝た

ちも浅子を慕って集まってきた。

会場の大同生命本社は、浅子が嫁いだ加島屋のあった場所だ。彼女がもたらした「新しい風」を体感して作品を執筆すべく、播州から土佐堀川のほとりに4年間移り住んだ玉岡さんに、物語の「現場」で浅子や満喜子たちが生きた時代を振り返ってもらおう。

当日は浅子や「豪商」がわかる
特別展示もお見逃しなく。

同社2階のメモリアルホールでは、大同生命が研究を進めてきた豪商の実態や堂島米会所のシステム、浅子の交友関係にまつわる資料が並ぶ展示室がこの7月にオープン。ホールに残る、ヴォーリス建築らしい意匠も必見です。



募集要項	「広岡浅子のゝ引力、と土佐堀川」 日時／2015年11月14日（土） 2:00PM～4:00PM頃（開場1:30PM～） 会場／大同生命大阪本社 会議室 受講料／2,000円 定員／250名 主催／ナカノシマ大学事務局 協力／大同生命本社	お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、FAX、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学11月講座」受付係 FAX.06-4799-1341 ※先着順で受付後、10月20日前後より受講票を発送します。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。
------	--	---

15/09/19 15:41

トウニン月報

2015年10月1日発行

「私の中の島スタイル」をテーマにパシヨリ



2014年度最優秀作品「Good Morning! Nakanoshima!」

秋の恒例、「Nakanoshima-style.com」フォトコンテスト」の応募が始まっている。今年のテーマは「私の中の島

スタイル」。これまで募集してきた中之島のワンショットの意味も広くなり、たとえば中之島への通勤スタイルや、マ

ルシェで買い物する風景を撮影してもいいわけだ。主催する中之島まちみらい協議会の方いわく「今年は水都大阪のシンボルイヤーなので、中之島の各所では多くのイベントが予定されています。これに参加するのも中之島スタイル。ぜひ自分なりのひとコマを切り取って送ってみてください」とのこと。

優秀作品には、これまた豪華な賞品がスタンバイ。たとえば「リーガロイヤルホテル」のペア食事券、大阪水上バスのクルーズチケットなど、中之島ゆかりの物が進呈されるのもこのコンテストの特徴だ。奮って参加しよう。

(江口由夏・本誌)

第10回 Nakanoshima-style.com フォトコンテスト

応募規定／デジタルカメラ、携帯電話などで撮影されたデジタルデータを1人5点まで応募可能 ファイル形式／JPEG、GIFなど(サイズ=2MBまで) 応募方法／パソコン、携帯電話などからメール添付で下記の宛先へ送信。メール本文に、「作品名」「撮影場所(簡単に)」「名前(ニックネーム可)」「賞品の送り先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)」を記入すること。(郵送不可)
送付先／oubo@nakanoshima-style.com
募集期間／11月30日(月)まで
詳しくは<http://www.nakanoshima-style.com>



京街道JAZZライン2015 第16回 天満音楽祭

日程／10月4日(日)
メイン会場／OAPタワー 入場無料
※時間や会場、料金はプログラムによって異なる。
詳しくは<http://www.ten-on.jp>



この9月から11月にかけて、京阪電車の沿線ではさまざまな音楽イベントが開かれている。「京街道JAZZライン」と名付けられた催しは大阪・中之島から滋賀・大津まで続く。秋の気持ちいい季節、はじめてみるのもおすすめです。島民エリアなら、今月4日

(目)に天満・天神エリア一帯が盛り上がる「第16回天満音楽祭」。お寺や商店街を始めとする過去最多の38会場には、船や川も含まれているのが島民エリアならでは。

島民エリアで注目したい、秋の2大音楽イベント

民らしさ。梅田方面のサテライト会場も合わせ、音楽好きがせっせとお目当ての会場を巡っていく。

今年で10回目を迎える「北大江たそがれコンサート」も見逃せない。今月10日(土)から一週間は「世界の音楽」がテーマ。音楽工房が多くて取り扱う楽器もバラエティに富む北大江エリアでは、ギャラリやレストランも巻き込んで、東欧や北欧の舞曲にイギリスのロック、タンゴや日本歌謡が響き渡るはずだ。メインの公園野外コンサートは

京街道JAZZライン2015 第10回 北大江たそがれコンサート

期間／10月10日(土)～17日(土)
メイン会場／北大江公園 入場無料
※時間や会場、料金はプログラムによって異なる。
詳しくは<http://kitaoe.jp>



大阪の芸術文化が集まる 「中之島のつと」



新たに今年誕生した芸術文化魅力育成プロジェクト「中之島のつと」が、10月2日（金）から11月10日（火）の間、大阪市中央公会堂を中心に開催される。このイベントは、能楽や落語といった上方伝統芸能に現代アートや演劇などのジャンルを組み合わせたプログラムを通し、親しみを持ってもらうというものだ。

中之島のつと

期間／10月2日（金）～
11月10日（火）

会場／大阪市中央公会堂、
大阪市新美術館

建設予定地（中之島4丁目）ほか

問い合わせ ☎06-6210-9305（芸術文化魅力育成プロジェクト実行委員会事務局）

※日時や会場、料金はプログラムによって異なる。

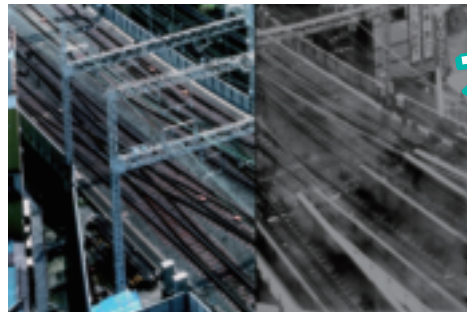
詳しくは <http://nakanoshimaknot.jp>



芸能ビギナーに向けた講座を設けるなど、その間口を広げている。特に、11月7・8日に大阪市新美術館建設予定地（中之島4丁目）で行われる新作能は、なんと能楽とボールダンス、クラシック音楽の組み合わせ。ちょっと遠い存在だった伝統芸能の新しい解釈が見つかるといい。

（江口由夏・本誌）

今年の鉄道芸術祭も アート×鉄道が面白い



写真：ホンマタカン（カメラオプスキュラにより撮影された京橋駅界隈の風景）

「鉄道」を、斬新な切り口で捉えてきたアートエリアB1の「鉄道芸術祭」。京阪電車なにわ橋駅の構内にある場所だからこそ、実現可能なプロジェクトといえる。5回目となる今年は、写真家のホンマタカシさんがプロデュースした「風景・景色」視覚・視点」をテーマに展覧会が開かれる。

ホンマさんがこだわるのは、カメラの原理である「カメラオプスキュラ」。暗い部屋に開けた小さな穴から入る光を利用し、壁に投影された像を読み取る方法だ。今回は京阪電車光善寺駅の「とある場所」がカメラオプスキュラに作り変えられ、実際に現地で撮影した走る電車の姿がアートエリアB1に展示される。一足早く体験した人からは「便利な現代だからこそ、『見える』ということが新鮮で面白く感じた」と興奮した声がある。会期中は光善寺駅のカメラオプスキュラを体験できる機会もあるそうだ。百聞は一見にしかず、開催を楽しみに待とう。

（江口由夏・本誌）

**アートエリアB1
鉄道芸術祭vol.5
ホンマタカシプロデュース
「もうひとつの電車
～alternative train～」**
期間／10月24日（土）～
12月26日（土）
時間／12:00AM～7:00PM
（一部有料イベントあり）
休館日／月曜
（祝日の場合は翌日）

10月24日（土）4:00PM～6:30PMは、ホンマタカシさんを招いてトークあり、ライブありのオープニングイベントを開催（参加無料・申込不要）。また、「光善寺駅カメラオプスキュラ」ツアーを会期中に複数回実施。各回定員10名（要申込・先着順）。参加費は1,000円。申し込み・問い合わせ ☎06-6226-4006（アートエリアB1）

今年で5回目を迎える「大阪マラソン」。コースは例年どおり大阪城公園をスタートしてインテックス大阪を目指し、3万2千人のランナーが大阪の名所を駆けぬける。毎年チャリティ活動にも力を入れており、新しく「なないうるチーム対抗戦」が登場。これはランナーがエントリー時に好きな色を選び、色ごとにチーム戦を行うというもの。赤は「生きる希望を支える」、黄色は「家族を支える」、緑は「自然を支える」といった7種類のテーマがあり、カラーにちなんだ支援先に参加料を寄付することで、気軽にチャリティに参加できるのだ。

大阪市中心部など、中之島周辺の当目のコースになっているところでイメージトレーニングしてみるのもいいかも。マラソンのポイントやトレーニング方法を教えてくれる講座を開講しているところもあるの

で、ビギナーはアンテナを張っておきたい。
（山内優花・本誌）

走るもよし、応援するもよし、 「大阪マラソン」に参加しよう！



©大阪マラソン組織委員会

第5回 大阪マラソン～OSAKA MARATHON 2015～

日程／10月25日（日）

時間／9:00AMスタート（車いすは8:55AM～）

問い合わせ／大阪マラソンコールセンター ☎06-6445-3978

※詳しくは <http://www.osaka-marathon.com/>

洋食の定番であるハンバーグに海老フライ、あるいはチキン南蛮にカレーライス…。これら9種類のメインから2つ、どれを組み合わせても豚汁とライスが付いて同じ値段。実に単純明快だ。

東京には「キッチンジロー」と聞けば「お世話になってます」と返す人も多いと聞く。昭和39年（1964）に神田神保町で創業以来、都内にはいくつも支店ができ、ビジネスマンや学生たちのおなじみに。そんな老舗洋食店が中之島フェスティバルタワー開業に合わせて、大阪に第一号店を出した。

厨房に立つ店長の小柴亮太郎さ

東京の味を大阪でも。老舗洋食店の挑戦。

【キッチンジロー】 ●洋食



んは「大阪への進出はかなりの覚悟だったと思います」と当時を振り返る。「第一号店はわかりやすいのが一番」と、東京ではメインの組み合わせによって変わる値段を、大阪では統一しました。フェスティバルホールは女性客が多いですから、年配の方が受け入れやすいようなオムライスやグラタン



例えば一番人気のハンバーグと、女性からよくオーダーを受ける帆立コロッケ、こちらに具だくさんの豚汁とライスがセットで980円。揚げ物と焼き物のバランスがいい。

いねいに、というのは調理の現場にも通じる。千葉県の工場で下ごしらえされたハンバーグのパテや帆立コロッケのクリームは、わざわざ大阪店だけのルートで運ばれ、厨房で形を整えたうえで注文を受けてから調理される。オープンキッチンはお客さんの表情もわかりやすく、待たせないようにと調理スピードは早い。待ちかねたようにできたてを口に運ぶお客さんの満足気な顔や、カウンター越しにかけられる「東京でもお世話になってました」という声は、新天地の大阪で腕をふるう小柴さんの楽しみでもある。

を特別に置いていっているのも大阪店の特長ですね」。中之島らしいレトロな洋食のラインアップは好評で、そのボリュームある定食で獲得した男性ファンに加え、働く女性たちにも人気がある。島民企業からのデリバリー注文も多く受けるが、「自分たちの足でできたてを運ぶので、タワーの三軒隣までで勘弁してもらっています（笑）」。

この目の届く範囲で



祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>

提供 / 株式会社 朝日ビルディング



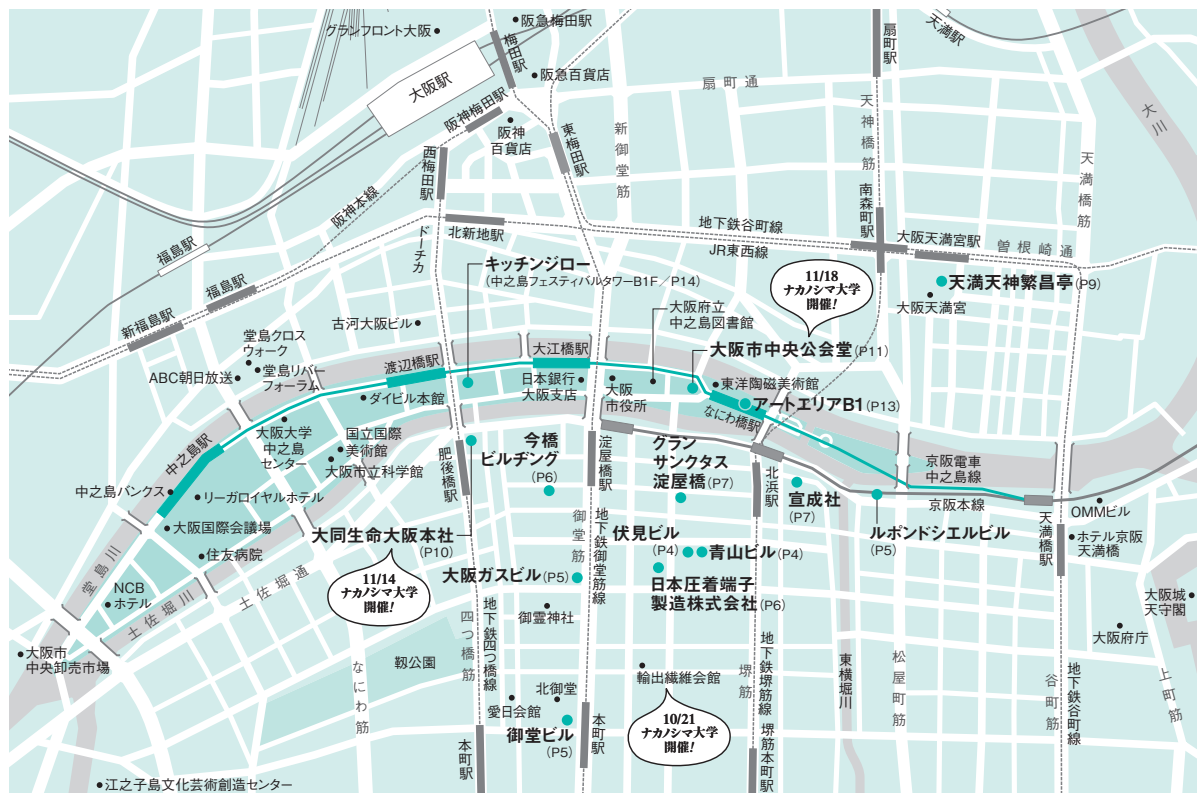
キッチンジロー

●中之島フェスティバルタワーB1F

組み合わせ定食のほか、オムライス（890円）やカレーライス（810円）などは終日オーダーOKのため、「ランチ難民」を多く救ってきた。店頭では同じくメインを組み合わせられるお弁当も販売。小柴さんが独自に考案する、夏は豚しゃぶ、冬はカキフライといったオリジナルの季節限定メニューを置くのも、大阪店が人気の理由。☎06-4963-2515 11:00AM～11:00PM（LO10:00PM）

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店／梅田 萬屋書店／紀伊國屋書店 梅田本店／グランフロント大阪店／本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／梅田ヒルトンプラザ店／天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイススポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／大阪梅田サテライト／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'S インターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／少彦神社／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など] アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前鰻料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／OOO(オー)／カセッタ／喫茶カンタロー／喫茶SAWA／グランドスイート中之島／黒門さかえ／コモンカフェ／The Court／サウト花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアトルベストコーヒー新聞電ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャー／バスターレー／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／FOLK／フレイムハウス／ミニロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 紀伊國屋書店 京橋店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店 柳ヶ堂／ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教教会 [店舗・医院など] あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリバー／大阪シティ信用金庫 江戸堀支店／御舟がめ／Cato Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワンナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂 水嶋書房 千早モビル店／大阪狹山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画部広報・社会学連携事務局／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／摂南大学 地域連携センター／野村呼文堂／郵政考古学会／ゆったりんこ／連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シンブソン／百練／奈良県立図書館報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)／BOOKSルーエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(荏原中延)／ONLY FREE PAPER(渋谷)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告「中之島らしい」店

右にならえでは面白くない。ガイドブックに載らない話が聞きたい。
「中之島らしい」店を、街の達人たちが案内する。

●『月刊島民』vol.88は2015年11月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行／月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社

みんな、みんなの、おけいはんです。

あのモールやレジャースポットも、
街なみも、電車もバスも、
あなたの毎日のそばに、京阪グループ。



|| 京阪グループ || **(運輸)** 京阪電気鉄道 叡山電鉄 京福電気鉄道 京阪エンジニアリングサービス 京阪レジャーサービス 中之島高速鉄道
 京阪ステーションマネジメント 京阪エージェンシー 京阪ライフサポート 京阪バス 京都京阪バス 京阪京都交通 ケービー・エンタープライズ
 江若交通 京都バス ケーター自動車工業 **(不動産)** 京阪カインド 京阪電鉄不動産 イースタン興業
 京阪アセットマネジメント 大阪マーチャндаイズ・マート 京阪ビルテクノサービス 京阪産業 かんこう 文化財サービス
 京阪園芸 **(流通)** 京阪流通システムズ 京阪百貨店 京阪友の会 京阪ザ・ストア 京阪レストラン ビオ・マーケット
(レジャー・サービス) 琵琶湖ホテル 琵琶湖ホテルサービス ホテル京阪 京阪アーバンシステムズ 京阪リゾートシステムズ
 京都タワー 京都センチュリーホテル 琵琶湖汽船 琵琶湖汽船サービス びわこフードサービス 大阪水上バス 比叡山鉄道
 樟葉パブリック・ゴルフ・コース 比叡山自動車道 ガーデンミュージアム比叡 **(その他)** 京阪ビジネスマネジメント 京阪カード はちけんや